



県民だより



第3号

●昭和55年7月1日発行 ●編集・発行／栃木県企画部広報課 〒320 宇都宮市埴田1丁目1番20号 ☎0286-23-2158
●県人口／1,781,072人 男879,520人 女901,552人 ●世帯数466,597世帯 (昭和55年5月1日現在)



「のびる力 むすぶ心 ひらくあした」をスローガンにした、県民総参加の手づくり国体「栃の葉国体」も開催まであと僅か。ふるさと栃木を、さらに、ふれあいが広がる、たくましく、さわやかな、住みよい郷土にしていくための一つの礎となるよう、栃の葉国体をぜひ成功させたいものです。178万県民の真心と、持てる力を結集して一。

栃の葉国体へダッシュ!

みんなで成功させよう



のびる力 むすぶ心 ひらくあした

栃の葉国体

夏季大会 9月7日(日)～10日(水)
秋季大会 10月12日(日)～17日(金)

やります できます このからだ

全国身体障害者スポーツ大会

10月25日(土)～26日(日)



生活

の普及率
%→40%
保育所入所率
(4~5歳児)
%→95.5%
園(1人当たりの面積)
㎡→6.4㎡

80年代の連帯感を育てよう

県民参加で計画推進
県民の方々の積極的な
参加と合意を得ながら、
計画の着実な推進を図っ
ていきたいと考えていま
すので、より一層のご協
力をお願いいたします。



新長期総合計画の改訂計画スタート

八十年代の栃木県が、より進歩し、そして誇れるふるさとに育つことは、私たち一七八万県民のたいへん大きな課題ではないでしょうか。そこで県では、去る四月に八十年代前半の、県行財政をすすめるための「新長期総合計画改訂計画」を決めました。これは五十二年への道をきり開いていくことになったものです。

心ふれあうコミュニティと広域生活圏づくり

この改訂計画は、栃木県のもつ豊かな自然環境、恵まれた歴史的文化的環境のなかで、勤勉で温か

系的、計画的な整備を図るとともに、施設の有効利用、さらに情報提供、マンパワー対策と施策の有機的結合など、施策の質的側面(ソフトウエア)を重視しています。

● 高校の整備と私学の振興・養護学校の整備・少年自然の家、公民館、図書館の整備など
● 県民文化の育成
● 博物館、植物園、文化会館などの整備・県域テレビの設置促進・史跡公園、風土記の丘の整備など
● スポーツレクリエーションの振興
● スポーツ施設の整備と学校体育施設の開放・スポーツ活動、指導の充実など



心の豊かさ創造性に富む人づくりの推進

い心をもつ県民の皆さん一人ひとりの自治意識によって支えられる「連帯感あふれた人間性豊かな地域社会」をつくるという基本目標実現のために、皆さんと一体となって取り組むことにしています。

このため、改訂計画全体を通して、連帯感を形成する基本的な場である住民相互の自主的なコミュニティが、県土全体にわたってつくられるよう配慮するとともに、県内各地の社会的、文化的、自然的な特

心豊かな地域社会を実現するための基盤として、だれもが家庭や学校、職場、それに地域社会などで、いつでも教育を受け、学習できるような生涯教育を充実します。また、うるおいのある生活をめざして地域文化を育てるように努め、さらにスポーツ・レクリエーションの各種施策を拡充します。

● 地域福祉サービスの充実強化・社会福祉教育の充実・老人、心身障害者の生きがい対策の充実・保育所の整備など
● 県民の健康増進と十分な医療

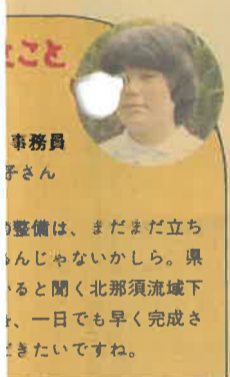


私のひとこと
小山 賢二さん
平井 賢二さん

高校増設の計画もあることと思いますが、高校整備における地域のバランスや、子供達の通学に要する負担などを軽くする意味でも、小山市への県立高校の新設をお願いできれば...

生きがいと幸せをもたらす社会福祉の充実

だれもが、生きがいを追求しながら、幸せな生活ができるよう、とくにお年寄りや体の不自由な人たちが、家庭や地域社会の中で在宅のまま必要な福祉サービスがうけられるようにするほか、だれもが健康で安定した生活が送れるよう保健医療、消費者保護などの施策を強化します。



事務員 子さん
整備は、まだまだ立ちあがりませんが、県民の安全と健康を第一に、一日でも早く完成させたいですね。

歴史と自然のふるさと



ローカル線の終着駅、烏山は静かな城下町。蛇姫様で知られたこの町は、山あり、水清くして和紙が生まれ育った。また、那珂の川、白く広く流れたり、の詩どおり、町を抱かかのように流れる那珂川は、釣りのメッカでもあり、母なる恵みの川である。

この町の歴史は古く、およそ五百年前の応永年間築城されて以来栄えた城下町で、城山のもとにある武家屋敷が、往時を偲ばせ、訪れるものをその昔へと誘う。近くにある郷土資料館には、先人たちの暮らしがひと目でわかる古文書や考古資料があつて興味深い。

ここから目抜き通りを十五分も歩くと県内では唯一の「手すき和紙」工場がある。七百年余の伝統を誇る烏山和紙は、その名も全国に知られており、中でも風合に味のある「程村紙」は、国の無形文化財に選択されているほど。

明治の末までは百軒もあつたといわれるこの手すき和紙も、いまはただ一軒だけと寂しいが、それでも最近では民芸ブームの波に乗って、紙こけしや押し絵、小物入れなど、素材な味が現代人にマッチして、和紙会館を訪れる人たちが多いという。もうすぐ、山あげ祭り、で知られる夏まつり、この張り子山にも和紙は主役の存在。いつまでも伝統の灯をともし続けてほしい。

とちぎ路スケッチ

心なごむ落人の里

「下野かるた」でもおなじみの、平家ゆかりの湯西川。湯西川に限らず、栗山村に足を踏み入れると、平家落人の部落といわれる神秘性を感じる。村の複雑な地形と、ぶ厚い緑の壁が落人たちを静かに包み込んでいたのだろうか。いまでも緑濃い自然はそのまま、そこは立つと、全身が緑に染まってしまうのでは、と思われれるほど。

湯西川から川俣に足を運ぶ。五十里湖を左に見て、国道10号線を右に折れ、五百ほどトンネルを抜けると、目の前に湖が広がる。この湖は、これは川治ダムが完成してから話。現在は左手に鬼怒の源流を見ながら走る県道川俣温泉川治線も、トンネルを出てから小指までの5kmはやがて湖の中に姿を消す。村役場を過ぎたあたりから、民宿の看板がやたら目の中に飛び込んでくる。四つの民宿が道すじに点在して、芽ぶき屋根が樹々の緑に溶け込んで訪れる人の心をなごませてくれるのも、この地ならではの風情。

五月の清らかな水で目をひいた水芭蕉の花は終りを告げたが、秘境栗山には四季を通じてふるさとがある。おりしも季節は初夏の始まり。この大自然に涼を求めて、あなたの小さな旅をこころみませんか。さあ！あなたなら、どういどみますか...



茅ぶきの民宿

農業、林業、商業、工業などの調和のとれた振興を図ります。
● 新時代に即した農林業の振興
● 米の過剰基調など農産物需給の実態に応じた農業生産の再編成・造林、間伐など林業の振興。
● 活力ある中小企業の育成
● 総合指導体制の確立と情報提供システムの整備などによる中小企業の体質強化・地場産業の振興など
● 観光の振興
● 勤労者の福祉増進と雇用の安

豊かな生活をささえる

エネルギー対策など
● 快適な居住環境づくり
● 公的宅地、住宅の供給・上下水道、生活道路、公園、緑地の整備・下水道の整備と家庭雑排水対策など
● 便利な交通環境づくり
● 総合的な交通体系の確立など
● 安心して暮らせる社会環境づくり
● 交通安全施設の整備・防犯、防災対策など



「あなたは何派？」

- ※「男は仕事、女は家庭」という考え方に対して
- ・「当然である」という伝統型が.....14%
- ・「現状ではやむを得ない」.....17.4%
- ・「女性も職業をもつことはよいが、少なくとも家庭のことは責任をもつべきだ」.....53.5%
- ・「男女とも職業をもち、家庭でも責任をわかち合うべきだ」.....11.8%
- ・「男女の役割は固定せずに、女が外で働き、男が家庭を守るのもよい」.....0.9%

～県内の婦人を対象に実施した意識調査結果から～

五十五年のことは「国連婦人の十年」の中周年。世界の国々で、男女の平等と婦人の社会参加が叫ばれ、その実現に向っていろいろな活動が繰り広げられています。地球に住む人類の約半数は女性。さあ、あなたも地球を支える一人です。胸を張って……

すすめよう、男女の平等

「婦人のための栃木県計画」まとまる

婦人の地位向上と福祉の増進を

県では、婦人の地位向上と福祉の増進を図るための総合的な推進計画として「婦人のための栃木県計画」の基本構想をまとめました。この基本構想は、婦人問題の現状と課題、それに今後進めていくいろいろな施策の方向を明らかにしたものです。

男性も女性も、一人の人間として本質的に平等であり、どんな差別があってもならないとする憲法の基本理念にたつて、社会の各方面での男女差別をなくし、婦人の能力を社会や県民生活の発展、向上に活かすとともに、婦人自身も生きがいをもって生活できるように、社会環境を整備していこうというものです。

基本構想に五つの計画目標

この計画は、県新長期総合計画にそつて、昭和五十五年から六十年までの六年計画で、その内容は「基本構想」と「事業計画」の二つです。事業計画は、基本構想に基づいて、五十五年度に策定されます。



男女平等観にたつた人間形成の推進

男女平等を実現するためには、男性も女性も、ひとりの人間として、その個性が尊重されるような考え方を、社会の中に根づかせる必要があります。そのためには、まず「婦人問題についての啓発」と「家庭教育、学校教育などの充実」を推進することが必要です。

働く権利の保障と条件整備

すべての人は、健康で文化的な生活を営む権利があります。この働く権利は、性別、婚姻上の地位、家族状況などによって制限されてはなりません。そこで「就業機会の拡大」「雇用における条件整備」「育児環境の整備」「農山村における条件整備」などを図っていきます。

母性の尊重と健康の増進

女性は、次代を担う生命を生み、育てるといふ、社会の発展に欠かせない重要な母性機能をもつておられる。これは社会的に十分保護されなければなりません。したがって、その健康の保持、増進と母性の保護はきわめて重要な問題です。そのため「母子保健医療対策の推進」「性教育の充実」「健康増進対策の強化」「地域保健医療の充実」などを図っていきます。

社会参加の促進を積極的に

婦人が社会に参加し、発言し、行動し、みずからの持てる力を発揮していくことは、女性自身のためばかりではなく、社会発展のためにも、きわめて大切なことです。したがって、婦人は、男性と同様に、あらゆる分野に参加する権利と機会が保障されなければなりません。そのために「政策決定への参加」「市民活動への参加」「国際交流の推進」などを図っていきます。

婦人の福祉の向上

社会的地位のまだまだ低い婦人の福祉の向上を図るために「児童育成環境の整備」「家庭の介護・看護機能の補完」「高齢者対策の充実」「母子家庭などの生活の安定と福祉の向上」「婦人保護対策の充実」などをすすめていきます。

昭和60年の私たちの現在 → 60年

●総人口	178万人→188万人	●下水道	9.7%
●県民1人当たりの所得(年額)	120万円→170万円	●幼稚園	91.9%
●医師数(人口10万人当たり)	112人→136人	●都市公	4.2%
●上水道の普及率	70.7%→95%		

性を考慮して、栃木県という地域社会を、県北、県央、県南の三地域と十の広域的な生活圏域に区分し、それぞれの地域の特性に応じた整備を図ることにしています。また各施策を推進するにあたっては、皆さんの地域活動の基盤として、定住条件として重要な役割を担う教育文化、生活環境施設などを県土全体に均衡がとれるよう体

私のひとこと

萬生町 主婦 石川 尋子さん

節約には心がけているんですが、とても追いつけません。物価の安定は、主婦として、切実です。また、子ども達が心身ともに育つよう教育の中で考えていただければ……。

サービス

- ・成人病(母子など)検診制度の充実
- ・休日、夜間救急医療体制の確立など
- ・消費生活の安定と向上
- ・同和問題の根本的な解決

安全・快適で暮らしよい環境づくりの推進

日常生活における快適さや暮らしよさをめざして、生活の中で

私のひとこと

大田原市 池沢美奈

下水道が遅れていて行っている水道事業をせいで……

人間と自然の調和のとれた県土づくり

- ・自然環境の保全・緑化の推進、全国植樹祭の開催など
- ・均衡と調和のとれた県土づくり
- ・合理的な土地、水利利用の推進

あすへの道をひらく

県民の集い

館 (足利市民会館)

▽7月12日(土) 午後1時30分から

▽8月30日(土) 午後1時30分から

(矢板市コミュニティホール)

申込みと詳しいことは、もよりの県民センターへ。

- ・中央県民センター(宇都宮市) ☎0286②3765
- ・県南県民センター(栃木市) ☎0282②5665
- ・県北県民センター(大田原市) ☎02872③1555

ズームイン

YSC室内合奏団

涼風の心地よい、とある一室。秋の定期演奏会をめぐり、川沼さんの指導のもと、熱心に練習に励む街の音楽家たち。ただ今、ビバルディの「四季」の一楽章を練習中。

YSC(ヤング・ストリングス・サークル)室内合奏団は、結成して十二年目。

現在団員は十八人(数のうえでは女性優位)で、お勤めの方が多く、毎週水曜日が合同の練習日で、午後七時から二時間みっちりレッスンをしている。練習のあとにはミーティングもひらき、話しに花が咲けば午前さまになることも……。

練習に励む団員

ご存じですか

県消費生活センター

県消費生活センターは、県庁から南へ約一キロ、大イチョ

皆さんの豊かな生活をささえる基盤として、環境との調和に留意しながら、各地域の特性に応じて、

定例

- ・雇用機会の開発と定年延長による雇用関係維持対策など

ウの木のある石井街道のすぐそばにあります。

同センターは、昭和四十六年に、県民の消費生活の安定と向上を図ることを目的にオープンした施設です。ここでは、皆さんの消費生活に役立つ各種の講座や講習会の開催をはじめ、消費者からの商品に対する苦情などに応じたリ、買物のアドバイスなども行っています。また、依頼があれば、各種商品のテストも行っています。

消費生活センターのご利用と詳しいことについては「宇都宮市松が峯二の一の六」☎0286③3181へお問い合わせください。

県南支所は「足利市家富町二二二五の一」☎0284④8011です。

県立足利図書館

国鉄足利駅から北へ、ぶらり十分。市民会館と運動公園の濃い緑に囲まれた大きなガラス窓とレンガ造りのモダンな館。これが四月にオープンしたばかりの県立足利図書館。私たちの街に誕生した新しい「文化と情報のセンター」を訪ねる私の胸は、なぜかわくわく。

一階フロアの左手が公開資料室、ここに三万余冊の図書が整然と備えられています。その一面にレコード・テープ・ビデオ・スライド用の専門ブース(個人机)が備えてあり、これだけを見て、なんとなく本の館。

また本の借り出しや返本などコンピュータで手ぎわよく管理されており、受付の人たちも、愛想よく迎えてくれ、きびきびとした対応ぶりにも好感がもてます。

さらに一階の右手には子どもコーナーが設けてあり、自由に取らせる書架の間にテーブルと椅子、その奥には「お話しコーナー」があり、ここでは、お母さんと子どもたちが車座になつて自由に本を読んだり、紙芝居を楽しんだりすることができ、心ゆくまで配慮には改めて感心させられました。

相談室、視聴覚室や読書室は二階に。足利遺跡図書館が保存する古書は、すべて



子供のお話しコーナー

取れず公開する計画だそうです。このほか車椅子専用のエレベーター、朗読奉仕グループのための特別録音室、サークル用の展示室など、ほんとうに意欲的なんだなあと思えました。レポートを終えて、私もさっそく本を借りて帰りました。

・足利図書館：足利市有楽町
☎0284④8881

こんにちは レポーター

●足利市名草上町1904●
加藤 昌子

いたれり、つくせりの「知識の館」で～す



から「知識の館」へと、これまで図書館のイメージを大きくゆり変えた、いわば文化の殿堂ともいいたところかしら。

また本の借り出しや返本などコンピュータで手ぎわよく管理されており、受付の人たちも、愛想よく迎えてくれ、きびきびとした対応ぶりにも好感がもてます。

さらに一階の右手には子どもコーナーが設けてあり、自由に取らせる書架の間にテーブルと椅子、その奥には「お話しコーナー」があり、ここでは、お母さんと子どもたちが車座になつて自由に本を読んだり、紙芝居を楽しんだりすることができ、心ゆくまで配慮には改めて感心させられました。

相談室、視聴覚室や読書室は二階に。足利遺跡図書館が保存する古書は、すべて

ふるさと・あれこれ

お知らせ

●申告を忘れずに／一定の条件に合った住宅や住宅用地を取得したときは、その取得の日から60日以内に申告をしないと、住宅の場合で105,000円、住宅用地で45,000円の不動産取得税が軽減されなくなりますので、ご注意ください。なお、詳しいことは、もよりの県税事務所におたずねください。

●中小企業退職金共済制度にご加入を／中小企業に働く人たちに、確実な退職金が支給されるように設けられた制度です。特徴は①月々の掛金がわずか②国の制度のため安全③退職金に国の補助金がつく④福利厚生施設造りの資金が低利で借りられる。詳しいことは県労政課(☎0286-23-3217)か各労政事務所へ。

●教員資格認定試験／8月24日(日)に高等学校教員と特殊教育教員、8月30日(日)・31日(日)に小学校教員の資格認定試験を。試験に合格すると、高等学校教諭普通免許状、養護学校教諭普通免許状、小学校教諭2級普通免許状の授与を受けることができます。願書の受付7月7日～19日。詳しいことは県教育委員会事務局義務教育課(☎0286-23-3385)へ。

●良普及員資格試験／農業改良普及員と生活改良普及員の資格試験を9月17日(木)～19日(金)に。願書の受付7月5日～21日。願書の請求と受験資格など詳しいことは県普及教育課(☎0286-23-2312)へ。



募集

●尾瀬を歩こう(第2回青年のバス)／7月19日(土)～20日(日)泊2日で尾瀬へ／募集人員40人／県内に住む16～30歳の男女／参加費5,500円／申込みは県青少年育成県民会議(県企画部婦人青少年課内) [問] ☎0286-23-3076

●全国身体障害者スポーツ大会の観覧／10月25日(日)・26日(月)の2日間、本県で開催される標記大会の観覧希望者を募集。入場は無料。申込は7月31日までに市福祉事務所または町村民生主管課へ。詳しいことは、同大会栃木県実行委員会事務局(☎0286-23-3037)または市福祉事務所、町村民生主管課へ。

●職業訓練開放講座を開きます／趣味と実益を兼ねた余暇利用のために、職業訓練開放講座を受けてみませんか。洋裁・左官・自動車点検・家庭刃物・工作・大工などの講座があります。実施日、講座内容など詳しいことは各職業訓練校へお問い合わせください。



レクリエーション施設



自然に遊ぶ (自然休養村)

名称	主な施設	問い合わせ先
南那須自然休養村	野営場、釣堀、物産直売所	南那須町産業課 (028788) 7111
塩谷町自然休養村	野営場、野鳥養殖施設	塩谷町自然休養村センター (02874) 5-1465
大平自然休養村	釣堀、物産直売所	大平町農林課 (0282) 43-8111
城山自然休養村	トリム、野営場、釣堀、物産直売所	宇都宮市農政課 (0286) 21-2222
黒羽自然休養村	アユ釣、観光車、観光いも掘園	黒羽町経済課 (02855) 4-1111

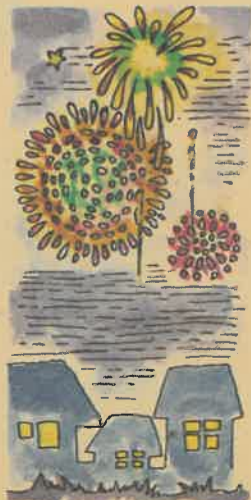
夏の祭り



8月 (県央) 高田山専修寺の夜まつり(二宮町・1・2日)／ふるさと

7月 (県央) 夏まつり、花火大会(真岡市・19・23日)／竜王まつり(藤原町・22・23日)／御神酒頂戴(益子町・24日)／男体山登拝祭(日光市・31・8月7日)／夏越輪くぐり(芳賀町・31日)

(県南) 流しびな(小山市・6日)／浅間山火まつり(佐野市・19日)



催し物

●プラハ美術館展(県立美術館)／8月9日～31日／チェコスロバキア国立プラハ美術館所蔵の名画約70点。ルーベンス、ロイスダール、ゴヤ、クラナッハなど。[問] ☎0286-21-3566

●特別展「下野の衣食住」(県立郷土資料館)／7月10日～8月20日／この特別展は、衣食住に関する民具を通して、私たちの先祖の生活のひとこまをのぞいてもらい、それによって、先人たちのくらしの知恵を改めて知っていただくというものです。[問] ☎0286-22-1282

●夏休みにどうぞ(児童会館)／星を見るつどい(7月23日、24日PM7:00)雨のときは中止です。／こども将棋大会(7月24日AM10:00)小学生の名(迷)人あつまれ、賞品もいっぱいあります。／プラネタリウム「親子のための特別投影」(7月26日PM2:30)小学5～6年生向き。[問] ☎0286-22-3329

●松竹大歌舞伎が来演(栃木会館大ホール)／三人吉三巴白浪など三幕で、中村扇雀や市川海老蔵をはじめ、大谷友右衛門、市川左団次、河原崎権十郎など名優がこぞって来宇します。／観劇料…特等席3,500円・1等席3,000円・2等席2,800円・3等席2,000円。／開演は昼の部が12時で夜の部は5時です。

[問] 栃木会館事業課 ☎0286-22-5935

宮まつり(宇都宮市・2・3日)／和楽踊り(日光市・5・6日)

(県南) 花火大会(足利市・2日)／七夕まつり(佐野市・上旬)／百八灯流し(栃木市・6日)／花火大会(小山市・16日)／平家祭り(栗山村湯西川・17・19日)

県政テレビ

ウチカドホホ

7月

◇1日…跳ぶ！投げ走る！走る！(栃の薬国

- 体に鍛える)／宇都宮
- ◇8日…暮らしの仕組にスポットを(消費生活を豊かに)／宇都宮
- ◇15日…右みて、左みて、右みてゴー(幼児交通安全教育の現場から)／今市
- ◇22日…オープンしました！万人プール(すすむ都市公園の整備)／真岡
- ◇29日…出を待つ人たち(全国身体障害者スポーツ大会にむけて)／宇都宮

8月

- ◇5日…水を大切に！(コップ一杯の水に想う)／藤原町
- ◇12日…新しい高校教育をめざして(世界にはばたく若い力を育てる)／宇都宮
- ◇19日…成功させよう栃の薬国体(広がる県民運動の輪)／宇都宮
- ◇26日…防災の日を前に／鹿沼



毎週土曜日
AM11:35～11:50
フジTV(8チャンネル)

足尾口